

リカ通信衛星会社」を設立し、世界各国に呼びかけました。その結果64年には47カ国が「商業用世界通信衛星網に関する暫定協定」に調印しました。この設立資金総額は2億ドルで、日本も分担金400万ドルを支払っています。

放送衛星の目的はテレビの世界ネットワークです。海底ケーブルではテレビ電波を送ることが出来ないで、放送衛星に頼らざるを得ません。通信衛星と放送衛星は本質的には変わりませんが、衛星自体は相当違ったものになるようです。通信衛星の場合は中継線用であるので、雑音の少ないところに地球局をつくって衛星に対する送受信をすればよいのですが、放送衛星は直接受信者へ届けるため、雑音の多いところで、普通の受信機で、安いアンテナで受信するには大きな出力が必要となります。アメリカ航空宇宙局の長期実験計画によると10年後には重量4.5トン、出力35KWの原子力電源と、出力10KWのテレビ放送設備を衛星に積みこむことになっています。

今後の大きな問題として三つあります。一つは技術的問題です。低高度、中高度、静止の3種類の衛星があり、静止が選ばれるようです。又電波の無駄を無くするため真下だけに向く、指向性の強い電波を地上だけに送る開発が一番問題で、日本でも理化学研究所がこの研究をすすめています。

次は経済的問題です。1発打ち上げるのに30億円以上かかり、保持年数は3年にすぎず、故障でもすれば大変です。参考までに、マイクロ回線費として電々公社にNHKでは年額31億円、民放では23億円を支払っています。

最後に国際問題ですが、主義思想の異なる国家群が、今後どのような態度に出るかが大問題です。国連のような世界的規模か、地域別か、国家別になるのか、とも角体制別によつて、番組の編成、放送の管理、放送衛星の運営、放送方式の統一、国際無線通信規格の変更、走査線数の統一等、具体的に検討を要する事柄が山積しています。日本でも放送法の根本的な改正、NHKと民放の二本建のための大きな混乱も予想されます。

民放問題はさておいて、私達の夢は世界放送の実現です。それにより世界人類の平和、民族の融合、国際間の友好に役立つことでしょう。又教育や医学での利用は後進国に益すること大です。更にポータブルテレビの活用により、全世界の家庭で、エベレスト、南極等の探検や、月世界に人間が到着する感激の実況放送が見られる日も遠くないと思われま

先週の出席率 83% (函館90% 函館東87%)

新入会員  
藤野 駿太郎 君



通算才105号  
1965~1966-4-20  
函館北ロータリークラブ

第94回例会

例会場 明治生命館  
例会日 毎週水曜日  
1230~1330

本日のプログラム

卓話 精神衛生について 市立函館保健所長 重野謙次氏

- 司会 遠藤会長
- 斉唱 手に手つないで
- ビクター 須田広之君他4名(函館) 中村重夫君他4名(函館東)
- 幹事報告

1 5月3日の函館東クラブ、5月5日の函館クラブの例会は祭日のため休みとなります。5月4日の当クラブの例会には全員御出席下さい。

2 5月29日のフォーラムには、当クラブ全員の出席を予定しております。都合で欠席が予定されている方は、予め幹事まで御申し出願います。

会員卓話 海と船と遭難 山内一雄君

海のある限り船は必要です。そして船は生き物であると言われます。国籍があり、船難港があり、高等動物と同じような骨格と呼び名があり、又女性に見立てられる等、皆様御承知の通りです。

私達が船を造る時の条件としては次のようなことがあります。

- 1 水に浮遊する物体としての軽快さ
- 2 水の上を走るに適した形態
- 3 運動の原動力と、船本態との相関性の適応
- 4 航海性、波波性、耐久性及び安定性の保持
- 5 強力に対する構造の力学的合理性
- 6 空気抵抗に対する流線形

西南7 性格主要条件の総合的統合

これ等の点を主として、船舶安全法に基づき、海運局、水産庁の製造検査及び2年毎の中間検査、4年毎の定期検査が行なわれています。

北海道在籍の木造船も、最近鋼船化が活発になつて来ました。木造船が鋼船に変わる原因は、経済的理由、溶接技術の進歩、耐用年限等によるものです。

航海の安全に寄与する燈台は、紀元前280年エジプトに造られた(石台に鉄籠)のが始めて、日本では天智天皇3年宅波、対馬に烽火台が、明治2年東京湾に洋式の観音崎燈台が造られています。

現在の船舶には近代設備が取り入れられ、無線電信電話は勿論、方向探知機

音響測深機 ロラン受信機 レーダー等て備えられていますが、北海道でも依然として船舶の遭難が多く、年間300人もの犠牲者を出しています。

遭難の原因には色々あり、設計施工の欠陥もありますが、濃霧のための坐礁積荷の過剰又は移動、横波等によることが多く、又最近では漁場が北方にのびたため、船舶の着氷による遭難も多くなりました。これは船舶上の結氷により重心が上るためです。オ一管区海上保安部の調べでは、最近5年間に約40隻、600人が結氷による転覆で死亡しています。この予防策としては、甲板上のパイプはビニール製にし、ゴム、スポンジを張るのが最良のようです。又設計上から見た遭難対策としては、吃水より上の乾舷を多くする規定があり、更に積荷の移動防止、出入口の防止設備、操縦装置、漁業燈の設置等の規定もあります。

航海安全法は次のような悲しい出来事から国際法的に出来たものです。

1912年4月10日、英国の豪華高速客船タイタニック号(46300トン)は、2207人の乗客、船員を乗せ、華やかな音楽と多くの人に見送られて、サザンプトンを出港しました。北廻り航路をとつて4日目の夜11時40分、時速21マイルの速力で氷山に激突し、船側に90mの亀裂を生じました。これには如何ともなし難く、激突後3時間で沈没したのです。しかもこれだけの豪華船に僅か700人分の救命艇しか用意されていませんでした。女、子供だけを救命艇に移したと、沈みゆく船のボートデッキには、華やかな舞踏会に妙なる音楽を送る筈であつたオーケストラ団の全員が、讚美歌320番「主よみもとに近づかん」の樂を奏し続け、船の沈みきると共にその樂の音も消えたと言うことです。沈みゆく船に乗つた人、そして救命艇に乗り離れゆく親と子夫と妻、互に呼び合い叫び合つた彼等は、一体どんき氣持だつたでしょうか。この惨事は世界の人々に異常なセンセーションを呼びました。

かくして翌1913年「海上に於ける人命安全」に関する国際会議がロンドンで開かれました。オ一次世界大戦で中断したあと、1929年再びロンドンで会議が開かれ各国の調印を得るに至りました。船舶安全法の概要は

- 1 船の前後端は勿論、必要により荷物艙、機関室に水密隔壁を造る
- 2 暗礁に乗り上げた場合の危険防止のため船底を二重にする
- 3 両舷測の彎曲部を二重にする
- 4 乗船定員を定める
- 5 全員を救助し得る救命設備(ゴムボート、食料、飲料水)を持つ等です。

私は折にふれ船主や乗組の方々に、船を可愛がつて下さいと話しています。

- ※ 先週の確定出席率 80%(函館92.52 函館東91.3)
- ※ 次回のプログラム 映画 〃ある女子学生の記録〃



本日のプログラム 〃映画〃 ある女子学生の記録

- ※ 司会 遠藤会長
- ※ 斉唱 〃奉仕の理想〃
- ※ ゲスト 重野謙次氏
- ※ ビジター 板垣雄二君他14名(函館) 山口啓三君他6名(函館東)
- ※ 社会奉仕委員長報告

市立函館博物館の新館落成を記念して、4月29日より5月22日まで「日本古美術名品展」が開催されます。当クラブでも1万円を寄贈しました。あとでパンフレットと招待券を配布致します。

※ お知らせ

- 1 365地区年次大会は、10月29日大阪府堺市に於いて開催されます。
- 2 チャーター・ナイト 川崎西(5月22日) 水上(6月3日) 宮古東(6月5日) 朝日(富山県 6月12日) 身延(6月16日)
- 3 5月3日と5日は祭日で、他クラブには例会がありませんので、メイク・アップされる方は御注意下さい。

※ 卓話 〃精神衛生について。〃

市立函館保健所長 重野謙次氏

先ず皆様方に市の社会福祉事業に御協力頂いていることを感謝します。

日本の人口の年齢構成は、昭和10年頃には若い年齢程多い「富士山型」の分布であつたのに、昭和37年の統計では10~14才が最も多い「つぼみ型」になつています。一方公衆衛生の向上、予防医学、治療医学の進歩により死亡率が減少して平均寿命がのび、老人が多くなりました。老化速度をみても、40年後の昭和80年には60才以上の老人が総人口の8%から18%に増える予定です。こうなると若い人が少なくなり、少ない労働力で多くの老人を養わなければなりません。そのような時代が来つつあります。

老人が多くなると当然老人病が多くなります。例えば高血圧、心臓病、糖尿病、腎臓病等で、一度かかると仲々治りません。あとは老化があります。